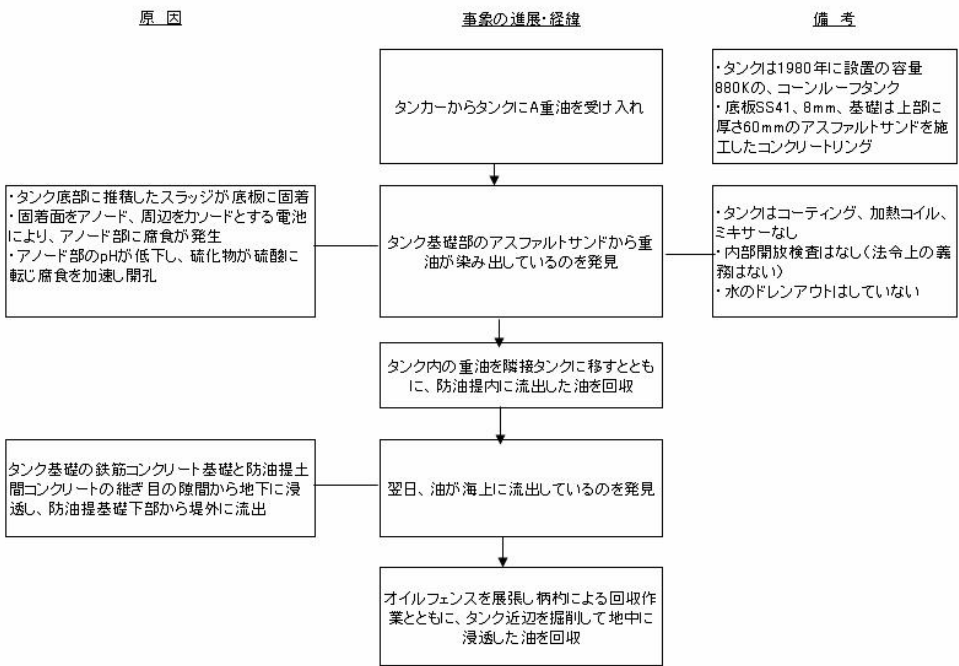




重油タンクの底板が腐食し漏洩

事象進展図

00222	重油タンクの底板が腐食し漏洩
発災年月日	1999/10/20
装置	貯蔵・入出荷設備
運転状況	定常運転中・ルーチン作業中
特徴	底板に堆積したスラッジによる電池腐食による漏洩



再発防止対策
1. タンク底部に溜まる水のドレンアウトができるように設備を改修し励行する。 2. 定期的にタンクを開放し内部検査を行う。 3. タンクの内面にコーティングを施工する。
安全専門家コメント
1. タンク内に水が溜まることは常識であり、それを定期的に抜くことは基本動作であると考え。本来、実施すべきドレン抜きが何らかの判断で建設以来行われてこなかったことが不思議でならない。そこに勤務する当事者はそれが当たり前のこととして行動するので、それを本来の姿に戻すことは並大抵のことでは出来ないと思う。そこで第三者による監査などを有効に活用する意義があると考え。 2. 法規制対象外の設備であるからといって事故を起こしても良いことにはならない。確かにリスクとしては低いものであろうが、リスクに応じた設備管理が必要である。法規制以外の設備でも実態に応じた設備管理を行わなければならない。

引き金事象発生の原因
・底板にスラッジ堆積による電池腐食 ・pH低下による硫化物より硫酸が生成し腐食加速

事故の引き金事象
腐食による開口漏洩

事故に関係した直接・間接要因
《物質要因》危険物質・不純物の生成・蓄積 《情報要因》物質特性・危険性の評価・検討不足 《管理・運営要因》設備維持・管理基準の不備・不十分



重油タンクの底板が腐食し漏洩

添付資料・参考文献・キーワード

参考資料（文献など）

- ・関 守秀、重油タンク底板腐食による漏洩事故、危険物事故事例セミナー資料、危険物保安技術協会、P.16-28、2000年
- ・消防庁、屋外タンク底板に発生した腐食貫通孔による重油流出事故、危険物に係る事故事例 - 平成11年、P.608-609

▶ 添付資料



[A重油の流出経路](#) (36 KB)

▶ キーワード(> 同義語)

- 🔑 円錐屋根タンク > コーンルーフタンク, CRT
- 🔑 海上入出荷系
- 🔑 基礎

▶ 関連情報